

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主管所属	県民生活環境部自然環境課
施策名	(7) 人と自然が共生する地域づくり	課(室)長名	石川 拓哉
事業群名	③ 豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 子どもたちが多様な自然を体験できる場所や機会を提供するとともに、高齢者が自然とのふれあいを享受できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した公園施設を整備します。また、増加する外国人利用客をはじめ、多様なニーズに対応した情報発信を行います。							(取組項目) i) 自然公園施設等の計画的整備の推進 ii) 人にやさしい施設への対応 iii) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	自然公園利用者数		目標値①	14,512千人	14,608千人	14,704千人	14,800千人	14,896千人	14,896千人(R2)	平成28年度の熊本地震(平成28年4月)の影響により利用者数は大きく減少したが、利用施設の再整備やインバウンド対策等地域の自然資源の活用を促進した結果、平成30年度は熊本地震発生前のレベルまで回復した。しかしながら、令和元年度は日韓の政治的関係悪化の影響で対馬市(彦岐対馬国定公園)の利用者が大きく減少したため、全体的に達成率を押し下げる結果となった。
			実績値②	14,320千人(H26)	13,912千人	14,537千人	14,069千人		進捗状況	
		達成率②/①		94%	95%	98%	95%	遅れ		

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 (令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容))	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和元年度事業の成果等	中核事業		
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績			達成率	
1	取組項目 i	西海国立公園リニューアル整備事業(公共)	(R元終了) H28-R元	51,192	21	6,378	西海国立公園の優れた自然を享受する公園利用者	自然環境整備交付金を活用し、西海国立公園内の重要な施設の再整備を行った。	活動指標	自然公園施設整備箇所数(箇所)	3	3	100%	●事業の成果 ・老朽化が進んだ施設の再整備を行い、安全性及び利便性が向上した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・ユニバーサルデザインに配慮した再整備により、豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくりに寄与した。	○
		19,761		59	5,568	2				2	100%				
		自然環境課		根拠法令	自然公園法	成果指標				西海国立公園利用者数(千人)	4,609	4,672	101%		
									4,714	4,820	102%				
2	取組項目 i	自然公園計画検討費	—	178	178	1,993	県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	彦岐対馬国定公園において、利用計画の見直しの必要性について関係市と調整を行った。	活動指標	審議会(自然環境部会)回数(回)	数値目標なし	0	—	●事業の成果 ・優れた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施することにより、県内の自然公園の面積は県土の約18%を維持しており、県民へ豊かな自然とふれあえる場を提供できた。	○
		157		157	1,988	数値目標なし				0	—				
		自然環境課		根拠法令	自然公園法	成果指標				自然公園面積(ha)	74,091	74,091	100%		
				249	249	1,993				74,091	74,091	100%			
3	取組項目 ii	自然公園施設補修費	—	26,673	6,973	6,378	県内の優れた自然を享受する公園利用者	既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため、維持補修を実施した。	活動指標	施設修繕箇所数(箇所)	5	11	220%	●事業の成果 ・公園施設の不具合等が発見され次第速やかに補修を行うことにより、事故の予防に寄与した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・施設の安全性を確保することにより、豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくりに寄与した。	○
		76,515		2,614	5,568	5				8	160%				
		自然環境課		根拠法令	自然公園法	成果指標				事故発生件数(件)	0	0	100%		
				26,351	5,851	5,583				0	0	100%			

4	自然公園維持管理費	—	6,245	6,245	7,175	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の保護管理、金泉寺山小屋の指定管理、県有施設敷にかかる国有林野借上料及び清掃活動負担金等。	活動指標	清掃活動箇所数(箇所)	5	5	100%	●事業の成果 ・適切な維持管理により利用者の安全性・快適性が確保され、年間を通じた自然公園利用の機会を提供することができた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・自然公園の適切な利用環境を確保し、利用者数の増加に寄与した。	
			6,878	6,878	7,159			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%		
			6,321	6,321	6,380	根拠法令	自然公園法	0	0	100%				
5	雲仙公園維持管理費	—	23,455	5,988	9,566	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	雲仙国立公園内県有施設等の維持管理を実施した。	活動指標	雲仙公園内公衆便所清掃箇所数(箇所)	17	17	100%		●事業の成果 ・適切な維持管理により国立公園雲仙の利用者の安全性・快適性が確保され、年間を通じた利用の機会を提供することができた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・国立公園雲仙の適切な利用環境を確保し、利用者数の増加に寄与した。
			23,432	5,986	9,545			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%		
			26,003	26,003	9,570	根拠法令	長崎県自然公園内県営公園施設条例	0	0	100%				
6	宝原道路維持管理費	—	2,975	2,667	1,993	宝原道路利用者	公園車道宝原道路において、安全施設等の改修を行い利用車両の安全を図った。	活動指標	改修箇所数(箇所)	1	1	100%	●事業の成果 ・公園車道宝原道路において、老朽化したガードケーブルの改修を行い、利用車両の安全が図られた。	
			3,246	37	3,579			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%		
			3,489	81	3,190	根拠法令	自然公園法	0	0	100%				
7	花のある街かどづくり事業費	—	536	536	1,594	道路沿線を通る観光客及び地域住民	美しい長崎県づくり推進のために、長崎市の玄関口にあたる道路沿線に整備した緑地の維持管理を行った。	活動指標	緑地箇所数(箇所)	1	1	100%		●事業の成果 ・年間を通じ、適切な道路沿線緑地の維持管理業務が図られた。
			524	524	1,591			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%		
			3,555	3,555	2,791	根拠法令	長崎県未来につながる環境を守り育てる条例	0	0	100%				
8	自然公園標識設置費	—	677	677	1,594	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の適正な保護管理と利用の増進を図るため、案内板・解説板・指導標等を設置した。	活動指標	自然公園標識の計画的更新(箇所/年)	1	1	100%	●事業の成果 ・自然公園施設の利用増進を図るため、園地入口部に案内標識を設置した。	
			16	16	1,591			成果指標	自然公園利用者数(千人)	14,704	14,537	98%		
			788	788	1,994	根拠法令	自然公園法	14,800	14,069	95%				
9	緑といきもの賑わい事業	H26-R2	12,202	0	6,378	市町、NP、O等民間団体	長崎県生物多様性保全戦略に基づいた各種保全対策を推進するため、従来の緑化事業に加え、保全地域等の保全事業や希少野生動植物の保護増殖等に民間団体等とともに取り組んだ。	活動指標	補助団体数(団体)	5	6	120%		●事業の成果 ・市街地における緑地の増加及び希少野生動植物の保全に貢献することができた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・活動団体への支援により緑地や野生動植物の保全活動の活発化が図れ、国立国定公園等から里地里山まで豊かな自然とふれあえ、自然からの恵みが享受できる地域づくりが推進された。
			8,784	265	6,363			成果指標	緑化事業実施箇所数(箇所)	5	5	100%		
			9,196	1	6,380	根拠法令	長崎県未来につながる環境を守り育てる条例	6	6	100%				
10	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業	(R2新規)R2-6	/	/	/	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	国立公園雲仙の利用拠点である雲仙温泉地域の滞在環境の上質化及びインバウンド対策を行う。	活動指標	自然公園施設整備箇所数(箇所)(累計)	/	/	/	—	
			19,749	164	10,368			根拠法令	自然公園法	5	/	/		
	自然環境課							成果指標	雲仙市外国人(欧米豪)延宿泊者数(人)	2,590	/	/		

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 自然公園施設等の計画的整備の推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 多様なニーズに配慮し、計画的に整備を実施した西海国立公園においては目標を達成している。それぞれの自然公園が有する自然資源を的確に活用し、インバウンド対策自然観光資源の活用が未熟。多様なニーズに対応した整備を各公園において計画的に実施する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 各自然公園が有する自然資源のポテンシャルを的確に把握し、関係機関と連携を図りながら計画的かつ効果的に整備を実施する。</p>
<p>ii 人にやさしい施設への対応</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 老朽化した施設の破損等により公園利用者の快適で安全な公園施設利用を阻害することがないよう、それぞれの施設に応じた維持管理を行うとともに、公衆便所や園路のバリアフリー化や標識等の多言語化を行い、快適な公園利用を促進している。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 今後も計画的な維持管理を行うとともに、補修が発生した場合は早急な対応を行っていく必要がある。</p>
<p>iii エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 エコツーリズム等の持続可能な利用を推進するためのコンテンツを創出するとともに、地域資源の保全等に取り組む民間団体や市町等の多様な主体に対する補助を実施している。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 引き続き適切な事業への補助を行う必要がある。</p>

### 4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容		令和3年度事業の実施に向けた方向性		
		事務事業名 所管課(室)名	(令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しがいない場合は「-」と記載)	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2	取組項目 i	自然公園計画検討費	—	②	国定公園・県立自然公園は、自然公園としての資質を維持するために保護と利用を計画的に実施する必要があり、今後も本事業を継続し定期的に区域内外の自然環境の変化や区域線の明確化、利用形態の変化等を検討していく。	改善
		自然環境課				
3		自然公園施設補修費	—	②	老朽化した施設の損傷や不具合により利用者の安全が損なわれることがないよう、計画的に本事業を実施していく。	改善
		自然環境課				
4		自然公園維持管理費	—	—	利用者の安全や利用の快適性を確保するため、今後も本事業を継続する。	現状維持
		自然環境課				
5	取組項目 ii	雲仙公園維持管理費	—	—	雲仙公園利用者の安全や利用の快適性を確保するため、今後も本事業を継続する。	現状維持
		自然環境課				
6		宝原道路維持管理費	—	—	宝原道路利用者の安全を確保するため、今後も本事業を継続する。	現状維持
		自然環境課				
7		花のある街かどづくり事業費	—	—	事業開始(昭和53年)から約40年経っており、事業目的の「道路景観の修景」を一定達成できたため、R2年度で事業廃止とし、JRと調整を行い返地する。	廃止
		自然環境課				

8	取組項目 ii	自然公園標識設置費	—	②	利用の利便性や快適性を確保するため、計画的に本事業を実施していく。	改善
		自然環境課				
9	取組項目 iii	緑といきもの賑わい事業	—	—	豊かな生活空間確保・地球温暖化防止のための緑化事業及び生物多様性の保全は、今後益々重要な環境問題であり、今後も本事業の継続を検討する。	現状維持
		自然環境課				
10	取組項目 iii	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業	R2新規	⑦	国立公園の利用拠点として、周辺資源等を活用し、市や民間と連携して更なる魅力向上に取り組む。	改善
		自然環境課				

注：「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点